2016 年 10 月 8 日

会員のみなさまへ

日本音楽教育学会編集委員会
委員長　有本　真紀

『音楽教育学』『音楽教育実践ジャーナル』への投稿のお誘い

今期編集委員会は,「学会誌のあり方に関する問題点の整理と改善に向けた提案（答申)」(学会誌のあり方に関する検討委員会, 2015 年 5 月 7 日, 学会ホームページ掲載）の趣旨を実現していくことを課題として活動しています。とりわけ,『音楽教育学』は投稿原稿を中核とする研究交流誌,『音楽教育実践ジャーナル』は会員が日頃の実践を活発に交換できる実践交流誌をめざして，リニューアルを進めています。

本委員会では,「投稿された原稿の長所を生かす」ことを編集の基本方針として徹底し，このことが査読者にも伝わるよう，査読指針を改定しました。また,「投稿の手引き」を整備し，投稿申込書に「研究の学術的な特色・独創的な点および意義等」を記入できるようにするなど，会員のみなさまに積極的に投稿していただける環境を整えています。さらに,『音楽教育学』と『音楽教育実践ジャーナル』に掲載された投稿原稿は，科学技術振興機構（JST）が構築した「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE)により, インターネット上でも順次公開されることになりました。つまり，学会誌への掲載は，研究を世界へと発信する窓口となります。

両誌ともに，多様な種類の原稿を受け付けておりますので，ふるって投稿のほどよろしくお願いいたします。投稿規定，投稿の手引き，必要書類など，投稿にあたっての詳しい情報は，学会ホームページの「論文募集」から，ご覧いただけます。それぞれの原稿種別に応じたテンプレートも用意していますので，ご利用ください。

✏ ☞投稿をお待ちしています！
次回『音楽教育学』の締切が延長されました。

直近の締め切りは 11 月 15 日となっておりましたが，できるだけ多くの方に『音楽教育学』へ投稿していただくために，次回の**締め切りを 12 月 10 日（土）まで延長**して，投稿をお待ちすることとなりました（**2017 年 8 月発行の『音楽教育学』47-1 号への掲載をめざします**)。『音楽教育実践ジャーナル』のほうは，2017 年 2 月 15 日が締切となります。

『音楽教育実践ジャーナル』では,「特集投稿」も募集しております。2017 年 12 月発行予定の通巻 28 号の特集テーマは，特集 1「音楽系の部活動と音楽教育」特集 2「0.1.2 歳児と音楽教育」（締切は 2017 年 2 月 15 日）です。